

国見町子ども読書活動推進計画

読む力は
生きる力を養う

内池和子



令和2年12月
国見町教育委員会

はじめに	1
------	---

第1章 現状と課題

国見町の子どもたちの現状と課題について	
国見町子ども読書活動に関するアンケート結果（令和2年7月10日実施）	2

第2章 計画策定の趣旨

1 計画の目的	7
2 計画の期間	7
3 計画の基本的な方針	7
国見町子ども読書活動推進計画の推進体制	8

第3章 推進のための具体的な取組み

1 子どもが読書に親しむ機会の充実のために	9
(1) 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進	9
(2) 学校等における子ども読書活動の推進	9
(3) 家庭における子ども読書活動の推進	9
(4) 地域における子ども読書活動の推進 （国見町図書館における子ども読書活動の推進）	9
(5) 支援を必要とする子どもの読書活動の推進	10
2 子どもの読書環境の整備と充実のために	10
(1) 国見町図書館の機能の充実	10
(2) 子ども司書活動の充実	10
(3) 学校図書館の機能の充実	11
(4) 連携・協力体制の構築	11
3 子どもの読書活動についての理解の促進のために	11
(1) 推進のための広報・啓発	11
(2) 子どもの読書活動に関する情報の収集と提供	11
(3) 優れた取組みの奨励と優良図書等の紹介	11
国見町子ども読書活動年表	12
国見町子ども読書活動推進会議委員	13

はじめに

子どもはよい環境の中で育てられる権利（「児童憲章」）を持っています。また、発達を保障され、適切な情報へのアクセスや文化的・芸術的な生活の権利（「児童の権利に関する条約」）も持っています。家庭や学校を含む地域社会での生活や文化は、子どもの成長に深いかかわりがあり、私たち大人は子どもたちのためによい環境を整えなければなりません。

子どもの読書活動推進計画に関する法律第2条には基本理念として「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」と述べられています。子どもたちが心豊かでより深く生きていくために読書環境の整備は欠かせません。

国見町では「内池文庫」や「移動図書館」など早くから町民と行政が連携した子ども読書推進活動が活発に行われてきました。そういう活動を踏まえて平成26年3月にはボランティア団体や学校などが連携してさらに読書活動を推進できるよう「国見町子ども読書活動推進計画」を策定し、ブックスタート、読み聞かせ、家読（うちどく）、子ども司書講座等に取り組んできました。平成31年度には国見小学校が子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けたことは町全体の喜びとするところです。

さらに、今年（令和2年）10月には「読書の町国見」を目指し、すべての町民にとって利用しやすい図書館となるよう「観月台文化センター図書室」を「国見町図書館」として整備したところです。

今般、国による第4次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」さらには第4次「福島県子どもの読書活動推進計画」の策定を受け、本町においても今までの読書推進事業の成果と課題を踏まえ、保幼小中連携、行政と町民が一体となった読書推進活動など本町ならではの活動の継続を図りながら社会の急激な変化に伴う活字離れなどの課題に取り組むため、新たに本計画を策定いたしました。

本計画を子どもの読書活動推進に関わる指針とし、「具体的な取り組み」の着実な実践に向けて今後も町民の皆様、関係団体の皆様のご支援・ご協力をいただきながら読書活動の推進に取り組んでまいります。

最後に本計画の策定にあたりご尽力いただきました関係機関の皆様、町民の皆様に心より御礼を申し上げます。

令和2年12月
国見町教育委員会教育長

岡崎忠昭

第1章 現状と課題

国見町の子どもたちは、生まれた時から中学を卒業するまで、藤田保育所やくにみ幼稚園、国見小学校、県北中学校（以下「学校等」という。）や、子ども移動図書館、国見町図書館など、本に触れる環境に恵まれ、また家庭においては家読の取組み、地域においては、子ども司書や読み聞かせ活動の取組みなど、読書に親しむ機会が確保されています。

国見町の子どもたちの幼少期からの読書習慣については、令和2年7月に実施した国見町の子ども読書活動におけるアンケート調査の結果からも、「本を読むのがとても好き・好き」と答えた割合が全体の約70%を占めていることから、本を読む習慣が定着している割合が多いと推察できます。

しかし、インターネットやスマートフォンなどによる情報手段の発達と普及など子どもたちを取り巻く環境が変化している中、こうした機器やゲームの長時間利用による生活習慣の乱れや、子どもたちの学年があがるほど、生活の中で、読書活動以外の学習活動などが活発になり、読書時間の確保が困難な状況にあります。

こうした環境の中でも、国見町に住む子どもたちの読書習慣の定着を目指して、子どもたちの実情に応じて、子どもたちの生活や学習活動の一つとしての読書活動の推進を考え、乳幼児期の楽しむ読書から中学校期の調べる読書・考える読書までに合わせた、子どもたちに寄り添う読書活動が求められています。

国見町子ども読書活動に関するアンケート結果（令和2年7月実施）

○アンケート配布数、回収率

対象者	配布数	回収数	回収率
幼稚園年長児 小学校1年生の保護者	86	69	80%
小学校2年生～6年生 児童と保護者	275	230	84%
中学校1年生～2年生 生徒と保護者	135	122	90%

1、本を読むのは好きですか

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
とても好き	15	63	19	97	23.0%
好き	36	98	63	197	46.8%
どちらかというと苦手	17	55	32	104	24.7%
苦手	1	14	8	23	5.5%
合計	69	230	122	421	100.0%

2、この1か月間に本を何冊読みましたか？

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
0 冊	3	5	8	16	3.8%
1 冊	5	40	25	70	16.3%
2 冊	9	33	36	78	18.5%
3 冊	12	26	25	63	15.0%
4 冊	10	45	15	70	16.6%
7 冊	13	35	7	55	13.1%
10 冊～20 冊	13	38	5	56	13.3%
30 冊	2	6	1	9	2.1%
50 冊	2	2	0	4	1.0%
合計	69	230	122	421	100.0%

3、1日の読書時間は

選択項目	幼・小1年	構成比
ほとんど読まない	19	27.5%
10分程度	38	55.1%
20分程度	10	14.4%
30分以上	2	3.0%
合計	69	100.0%

選択項目	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
ほとんど読まない	61	32	93	26.4%
30分まで	121	66	187	53.1%
1時間まで	19	15	34	9.7%
1～2時間	20	6	26	7.4%
2時間以上	9	3	12	3.4%
	230	122	352	100.0%

●ほとんど読まない、と答えた人はどうしてですか(複数回答可)

選択項目	幼・小1年	構成比
学習で忙しい	4	17.3%
習い事で忙しい	0	0.0%
読みたい本がない	1	4.4%
ゲーム、テレビなどのほうが楽しい	11	47.8%
マンガや雑誌が読みたい	0	0.0%
読書が苦手	6	26.1%
(読んであげる両親が忙しい)	1	4.4%
合計	23	100.0%

選択項目	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
習いごとや勉強で忙しい	13	8	21	13.3%
スポ少や部活などで忙しい	10	13	23	14.6%
読みたい本がない	11	9	20	12.7%
ゲーム、テレビなどのほうが楽しい	26	11	37	23.4%
マンガや雑誌が読みたい	12	11	23	14.6%
読書が苦手	24	8	32	20.1%
(宿題をやると時間がない)	2		2	1.3%
合計	98	60	158	100.0%

4、家読をしていますか

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
している	58	188	26	272	64.6%
していない	11	42	96	149	35.4%
合計	69	230	122	421	100.0%

5、スマートフォン・タブレットなどの電子書籍で読書をすることがありますか

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
時々ある	7	35	33	75	17.8%
頻繁にある	1	6	9	16	3.8%
ない	61	189	80	330	78.4%
合計	69	230	122	421	100.0%

6、国見町の読書リーダーとして活躍している子ども司書を知っていますか

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
知っている	31	89	69	189	44.9%
知らない	38	128	39	205	48.7%
子ども司書として活動している		13	14	27	6.4%
合計	69	230	122	421	100.0%

●知っていると答えた方は何で知りましたか

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
広報くにみを見て	15	31	13	59	29.2%
おはなし会やイベントに参加して	8	8	5	21	10.4%
図書室だよりや掲示を見て	5	31	17	53	26.2%
家族、友達に聞いて、		25	35	60	29.7%
(兄弟が司書講座に参加していた)	3	2		5	2.5%
(図書委員だから)		1		1	0.5%
(学校のプリントで知った)			3	3	1.5%
合計	31	98	73	202	100.0%

7、国見町図書館を利用したことはありますか

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
ある	38	152	83	273	64.9%
ない	31	78	39	148	35.0%
合計	69	230	122	421	100.0%

●あると答えた方はどのように利用されましたか(複数回答可)

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
本を借りた	32	120	65	217	79.0%
閲覧のみ	7	32	18	57	20.6%
(夏休みの学習会で利用した)			1	1	0.4%
合計	39	152	84	275	100.0%

●国見町図書館を利用して感じたことは(複数回答可)

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
利用しやすい	22	92	38	152	35.1%
本が探しやすい	4	43	25	72	16.6%
読みたい本がある	9	65	22	96	22.2%
利用しづらい	2	2	1	5	1.2%
本が探しづらい	8	18	12	38	8.8%
読みたい本がない	3	10	13	26	6.0%
何とも言えない	5	14	21	40	9.1%
(冊数が少ない)	2			2	0.5%
(暗い)		1	1	2	0.5%
合計	55	245	133	433	100.0%

●「ない」と答えた方はどうしてですか

選択項目	幼・小1年	小2年～6年	中1年～2年	合計	構成比
図書館を知らない	5	3	3	11	7.4%
利用する時間の確保ができない	17	51	22	90	60.4%
利用しづらい	4	15	9	28	18.7%
(購入している)	2	2		4	2.6%
(家や学校で借りる本で充分だから)	2			2	1.4%
(破損する恐れがあるから)	2			2	1.4%
(読みたい本がない)		2	1	3	2.0%
(利用の仕方が分からない)		2	1	3	2.0%
(自宅から図書館まで遠い)		2	1	3	2.0%
(利用する必要がない)			2	2	1.4%
(親に利用して良いか聞いてない)		1		1	0.7%
合計	31	78	39	149	100.0%

第2章 計画策定の趣旨

1 目的

子どもの読書活動の推進に関する法律第2条の規定及び第4次福島県子ども読書活動推進計画に基づき、すべての子どもたちが、発達段階に応じてあらゆる機会とあらゆる場所において、自ら読書の楽しさに気づき、読書活動を継続して行うことができる読書習慣を身に付けられるよう、学校等や家庭、地域が連携・協働して、子どもの読書環境を整備するために、平成26年度に策定した国見町子ども読書活動推進計画（第1次）を改定し、計画的に取り組むものです。

2 計画の期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

※ただし、計画期間中、学校等や、家庭、地域の関係者で構成する「国見町子ども読書活動推進会議」（以下、「推進会議」という。）による計画の進捗状況についての確認や検証を行い、隨時見直します。

3 計画の基本的な方針

本計画は、国見町の子どもたちの実情を踏まえ、次の基本的な方針により取り組みます。

- (1) 子どもが読書に親しむ機会の充実のために
- (2) 子どもの読書環境の整備と充実のために
- (3) 子どもの読書活動についての理解の促進のために



図書館オープニングセレモニー「群読」



子ども司書講座「おはなし会」

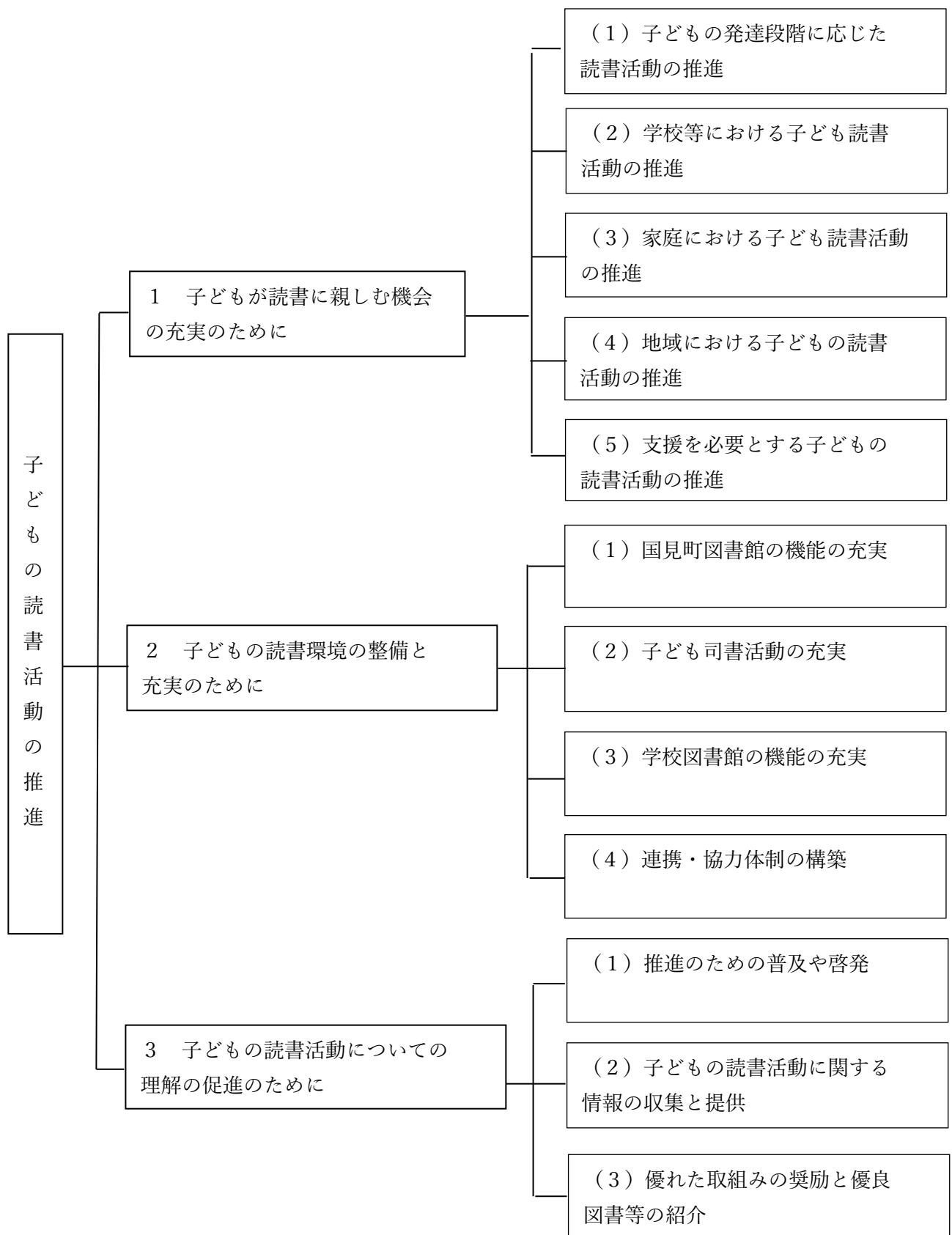


子ども司書活動「移動図書館」



子ども司書活動「絵本の選書」

〈国見町子ども読書活動推進計画の基本的な方針〉



第3章 推進のための具体的な取組み

1 子どもの読書に親しむ機会の充実のために

(1) 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進

- ①乳幼児期の子どもたちには、遊びや読み聞かせによる本に親しむ機会を確保し、家読の推進など本に親しむ習慣の形成に取り組みます。なお、3ヵ月児の保護者に対して絵本の紹介と乳幼児期からの読み聞かせの大切さを伝えるブックスタート事業に継続して取り組みます。
- ②小学校期から中学校期の子どもたちには、読書を楽しみ、親しむことに加えて、読書の大切さと学校図書館の活用を学びながら、学校生活の中で読書力を伸ばし、調べる読書や考える読書のできる習慣の定着に取り組みます。

(2) 学校等における子ども読書活動の推進

- ①藤田保育所やくにみ幼稚園では、保育士や教諭による絵本の読み聞かせや遊びなどを通して、本に親しむ・楽しむ機会を確保します。また、保護者への乳幼児向けのおすすめ本に関する情報提供や、本の整理、配架の工夫に努め読書習慣の形成に取り組みます。
- ②国見小学校や県北中学校においては、毎年度定める教育計画における図書館教育計画を着実に進め、読書習慣の定着に取り組みます。

(3) 家庭における子ども読書活動の推進

- ①家読の日（毎月4～6のつく日）に、家庭で一冊の本を介して話し合う時間を持つよう努めます。
- ②家庭の中で、子どもが手に取りやすいところに本が置かれていたり、家族と一緒に本を読んだり、図書館や本屋に連れて行くなど、身近に本に触れる機会を増やすよう努めます。
- ③国見町図書館においては、親子を対象に、子どもの年代に応じた選書の仕方や、読書の楽しみ方、読書の良さを伝える場を提供して、家庭における読書習慣の定着を支援します。
- ④家族で読書活動を考えるきっかけとして、福島うちどくネットワークと連携し読書活動推進フォーラムを開催します。

(4) 地域における子ども読書活動の推進（国見町図書館における子ども読書活動の推進）

- ①国見町図書館においては、子どもたちが本を探しやすい配架に努めます。特に、小学校高学年から中学生にとって魅力的に感じるYA（ヤングアダルト）コーナーを充実します。また、子どもたち向けのレファレンスサービスや読

書相談を充実します。

- ②読書活動団体に読み聞かせなどの活動の場として、学校等や観月台文化センターなど公共施設の利用を支援します。
- ③子ども移動図書館指導員の新規発掘や、養成講座の企画、開催に努めます。

(5) 支援を必要とする子どもの読書活動の推進

- ①学校等や国見町図書館において、帰国子女や母国語が日本語ではない子どもの読書活動を支援するため、多言語による図書資料の収集・提供に努めます
- ②読み聞かせ等を実施する場合は、優先スペースを確保し、障がいのある子どもが参加しやすい環境づくりを進めます。

2 子どもの読書環境の整備と充実のために

(1) 国見町図書館の機能の充実

- ①子ども向け図書資料の計画的な収集を図ります。なお、子どもたちの声を反映した選書に努めます。
- ②子どもたちが見やすく探しやすい配架に努めます。
- ③知識と技術を有する司書を配置し、レファレンスを充実します。
- ④図書館事業に関わる職員や図書ボランティア養成のための研修の実施等を推進します。
- ⑤子どもが安心して読書することができる児童コーナーを充実します。
- ⑥館内に特設コーナーを設置して、子どもや保護者向けのおすすめ本を紹介するなど、展示の工夫に努めます。
- ⑦自由に蔵書検索ができる資料検索用インターネット端末の配置や、情報発信するホームページの活用など情報化を推進します。
- ⑧国見町図書館だよりを発行し、情報の提供に努めます。
- ⑨学校や地域で読書の楽しさ、素晴らしさを伝えるリーダーとして子ども司書の育成に努めます。
- ⑩学校の実情に応じて、子どもたちによる読み聞かせやブックトーク、ビブリオ・バトル等の様々な読書活動の機会を確保します。
- ⑪福島うちどくネットワークと連携し、読書活動推進フォーラムを開催します。

(2) 子ども司書活動の充実

- ①子ども移動図書館に参加し、貸出作業や本を借りにくる児童のサポートに努めます。
- ②子ども司書講座において、習得した知識や経験を生かし受講生への指導やサポートに努めます。
- ③読書の素晴らしさを伝え、本と人との結びつきを手助けする活動の場として子ども司書フェスタを企画、運営します。
- ④子ども読書活動推進フォーラムに参加し発表の場を設けることにより同年代の子どもたちが読書に関心を持つ機会を確保します。

(3) 学校図書館の機能の充実

①教育計画における図書館教育計画を着実に進め、学校図書館の機能を充実します。

(4) 連携・協力体制の構築

①学校等と家庭の間においては、子どもの読書活動に関する情報を相互に交換し合い、子どもたちの読書環境の充実のため連携・協力に努めます。

②学校等と国見町図書館においては、国見町図書館の図書資料を貸出することで、学校等において多様な読書活動が行われるよう連携・協力に努めます。

③学校等と読書団体の間においては、読み聞かせやブックトークの取り組みなど、子どもたちの読書環境の充実のため連携・協力に努めます。

3 子どもの読書活動についての理解の促進のために

(1) 推進のための広報・啓発

①広報誌や国見町図書館ホームページ、図書館だより、図書館LINE（以下「各種広報媒体」という。）を活用し、新刊案内や読み聞かせ等の読書活動の情報、子ども司書の取り組み等を掲載して、読書活動の広報・啓発に努めますまた、「子ども読書の日（4月23日）」や「子どもの読書週間（4月23日～5月12日）」、「文字・活字文化の日（10月27日）」、「読書週間（10月27～11月9日）」の機会に合わせた広報・啓発や、おはなし会・大型紙芝居等の実施、児童書の展示等により、子どもたちが読書活動に関心を持つ機会を確保します。

(2) 子どもの読書活動に関する情報の収集や提供

①学校等や家庭、地域における子どもの読書活動推進の取組みに関する情報を広く町民へ情報提供します。

(3) 優れた取組みの奨励と優良図書等の紹介

①優れた取組みを実施している学校や読書活動団体を各種広報媒体で紹介し、その取組みを奨励します。

②学校司書や司書教諭、保護者等の子どもたちに身近に関わる方々がお薦めする本を各種広報媒体で紹介します。

③学校等や国見町図書館において、推薦図書や課題図書など優良図書を紹介します。

④国見町図書館だよりにおいて、子どもたちの身近な方々がお薦めする本の紹介文を掲載し家読の推進に努めます。

国見町子ども読書活動年表

昭和45年	町民福祉センター開館（図書室開室）
昭和47年	県内初の家庭文庫（内池文庫）を開設。
昭和51年	「母と子の公民館活動（現：子ども移動図書館）」を地区公民館を活動場所としてスタートさせる。
昭和52年	森江野小学校が活動場所となる。
昭和56年	移動文庫を開設し、町内5つの小学校に指導員が出向き放課後の空き教室を活用し小学校1～3年生のすべての児童に本を届ける。
平成3年	事業名を「子ども移動図書館」と改称
平成6年	観月台文化センターの建設により1階に図書室2階に児童室が整備される。
平成17年	保健福祉課と連携のもと3ヶ月児健診時の待ち時間を活用し「ブックスタート」を実施。
平成20年	公民館事業における町民教室「読み聞かせ講座」の受講生が自ら子ども読書活動の勉強会を継続、実践する「よみきかせみみずく」を立ち上げる
平成23年	「観月台文化センター図書室だより」を発行し新着図書、話題本などを紹介。
平成24年	小学校が統合され国見小学校1校となる。スクールバスの運行により放課後の活動から昼休みの限られた時間での活動となる。
平成26年	町の読書リーダーを育成する子ども司書講座が開講。
令和2年10月	国見町観月台文化センター図書室（公民館図書室）から国見町図書館となる。



国見小学校「移動図書館」



子ども司書講座「貸出・返却体験」

国見町子ども読書活動推進会議委員

No.	役職	氏名	備考
1	委員長	高橋 由貴	福島大学人間発達文化学類准教授
2	副委員長	阿部 紀子	子ども移動図書館指導員
3	委員	清野 真純	藤田保育所図書担当保育士
4	委員	中田 千尋	くにみ幼稚園図書担当教諭
5	委員	今野 千鶴子	国見小学校図書担当教諭
6	委員	君島 さやか	県北中学校図書担当教諭
7	委員	渡辺 愛	くにみ幼稚園保護者
8	委員	吉田 さとみ	国見小学校保護者
9	委員	森 晃	県北中学校保護者
10	委員	安藤 裕美	よみきかせサークルみみずく代表
11	委員	鈴木 道代	人形劇サークルエプロン 代表
12	委員	内池 和子	福島子どもの本を広める会 顧問

